



# 和!わっ! 輪!

**兵庫県立尼崎病院**

 〒660-0828  
 兵庫県尼崎市東大物町1丁目1番1号  
 TEL 06-6482-1521 (代表)  
 FAX 06-6482-7430

<http://www.amahosp.amagasaki.hyogo.jp/>

## 医療の交差点

 呼吸器内科部長 平林 正孝  
 呼吸器外科部長 糸井 和美

## 新生呼吸器センターを紹介致します!

**呼吸器内科**

## 新しい活動の場を求めて

### — 新呼吸器内科の取り組み —

県立病院の診療機能見直しに伴い、平成19年1月、県立塚口病院呼吸器科は、当院へ移管され、塚口病院呼吸器科にて診療を担当していた呼吸器内科医師3名、呼吸器外科医師2名は、それぞれ当院の呼吸器内科と呼吸器外科へ異動して参りました。結果として、当院は、呼吸器内科医師7名、呼吸器外科医師4名となり呼吸器疾患診療体制は極めて充実したものとなりました。

加えて、単に数の上の充足のみならず、内科・外科一体となった呼吸器センターを本年4月より形成し、両者が、内科的疾患・外科的疾患を問わず有機的に関わりあってより良い診療を目指すことを目標と致しております。

### <呼吸器内科での診療対象疾患>

- ① 肺炎をはじめとした感染症
- ② 気管支喘息を主としたアレルギー性疾患
- ③ 肺気腫を含んだ慢性閉塞性肺疾患
- ④ 肺線維症に代表されるびまん性肺疾患
- ⑤ 肺癌・悪性胸膜中皮腫等の腫瘍性疾患

近畿地区においては、下記の研究グループにて呼吸器疾患を多施設で共同研究することにより、新しい診断と治療に取り組んでいます。

ホームページを記しますのでご参照下さい。

### <多施設共同臨床研究グループへの参画>

- ① NPO法人関西臨床腫瘍研究会 (KCOG : <http://www.kcog.jp/>)
- ② 京都胸部腫瘍研究グループ (KTORG)。



後列左から原、平位、遠藤、森内医師  
前列左から森、平林、榎林医師

近年話題のアスベスト関連疾患も呼吸器内科の診療対象疾患となっております。特に、尼崎という当院の立地に深く関わると言わざるをえない悪性胸膜中皮腫の頻度は、ここ10年来、著しく頻度が高くなっております。呼吸器センターとして、その診断と治療に積極的に携わってゆきたいと考えていますので、ご遠慮なくご相談ください。最後に、県立尼崎病院呼吸器センターのより一層の発展には、私共医療関係者のみならず患者様方のご参加とご協力が不可欠です。医療者と被医療者とが相互に関わりあってお互いを止揚したところに新たな地平が広がって参ります。皆様方と共に当院呼吸器センターの更なる発展向上を希求して参りたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

(平林 正孝)

## 呼吸器外科

# 小さな切開で負担の少ない内視鏡治療

## 肺がんの外科治療

呼吸器外科は、塚口病院の呼吸器外科スタッフが当院へ異動して来たのをきっかけに、呼吸器内科とともに呼吸器センターとして、新しい体制でスタートすることになりました。

肺がんや縦隔腫瘍などの腫瘍性疾患から結核や膿胸などの炎症性疾患を手がけていますが、近年、肺がん罹患患者数は年々増加する傾向にあり、当院にても手術症例数の半数弱を占めています。

一方、治療方法も発展してきており、早期肺がん症例に対しては、胸腔鏡という内視鏡を用いた治療法も積極的に行われるようになってきました。

当院でも手術全体の約4割の症例で内視鏡的手術を行っており、今日は、肺がん治療のお話をしてみたいと思います。

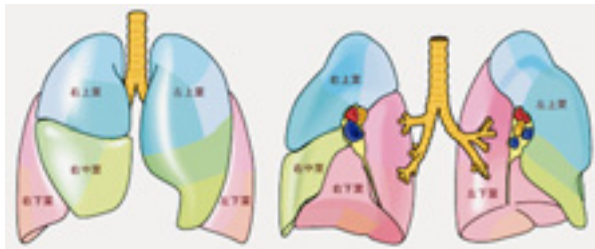


写真1： 肺の解剖（前と後より）

写真2は、後側法切開と言われ古くから用いられている手術方法です。広い視野が得られる利点があり、肋骨切除を必要とするような拡大手術には現在でも用いられる手術方法ですが、切開の傷も大きく、また、術後の疼痛が強く、呼吸障害や運動機能障害を残す可能性があります。

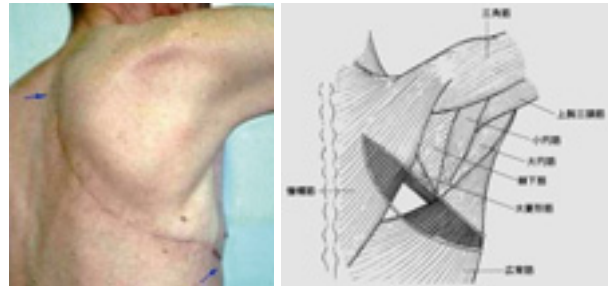


写真2： 後側法切開



写真3： 内視鏡的手術

胸腔鏡を利用した内視鏡手術では、写真3に見られるように、小さな切開で手術をおこなうことが可能で、前述のような合併症の危険性は低くなります。しかし、リンパ節郭清が不十分になる可能性、突然の術野での出血に対して迅速な対応が困難と言う問題があります。

しかし、大きな切開手術になった場合でも、手術直後の疼痛を恐れる必要はありません。“硬膜外麻酔”と言って、脊髄の外側にある硬膜外腔に細いチューブを挿入し、ここから局所麻酔薬やモルヒネなどを持続的に注入しています。この処置により術後の疼痛が激減し比較的楽に術後を過ごすことが出来ます。

やはり小さな切開手術で終わるにこしたことはありません。そのためにも肺がん検診や人間ドックなどを利用し、肺がんの早期発見を心掛けるようにしたいものです。

(糸井 和美)

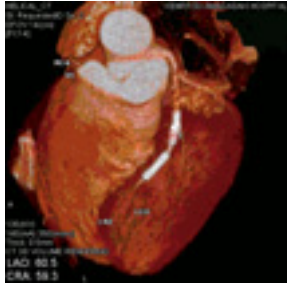


後列左から大野、喜多村、小林医師  
前列 糸井医師

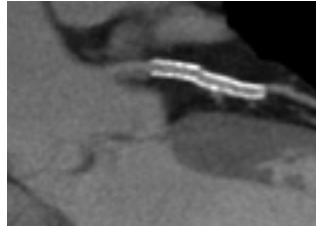
# 放射線診断に強力な助っ人!

## 最新鋭64列マルチスライスCT導入

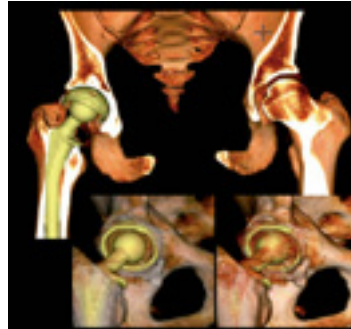
今年2月、放射線部門に当院待望の最新鋭マルチスライスCT Aquilion64（東芝製）が導入されました。マルチスライスCTは、従来のCT検査と異なり、一回の撮影で多数の断面を撮影・処理することが可能な為、検査時間が大幅に短縮され、全身の細部を広範囲かつ精密に撮影することが出来るようになりました。



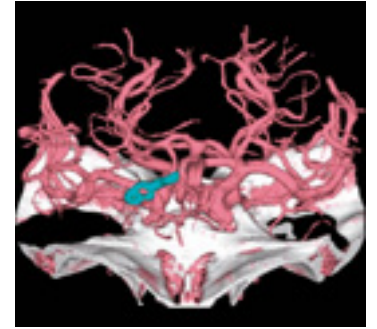
心臓冠動脈



冠動脈ステント



股関節人工骨頭



脳血管動脈クリップ

### 患者さまにとって、メリットは？

- ① 従来のCT検査と同様に、苦痛のない非侵襲的な検査
- ② 検査で得られる多くの情報を短時間で処理  
精密な画像や立体的な画像処理が可能で、診断機能の向上が期待できます。
- ③ 呼吸を止めにくい乳幼児や高齢者、重篤患者さまも鮮明な撮影が可能
- ④ 全身のあらゆる臓器疾患に対して検査が有効  
今まで撮影困難であった心臓や血管などに対しても検査が可能となりました。
- ⑤ 心臓冠動脈スクリーニング検査や術後フォローアップ検査への利用  
冠動脈狭窄・閉塞の評価、ステントの形状と開存性の評価、心外膜・心筋壁・弁膜疾患の評価、心機能の評価など。
- ⑥ 体内の金属によって生じる画像障害を抑制し、良好な画像を提供  
従来のCT検査やMRI検査にて検査が困難であった、体内に人工関節・骨頭、あるいは、金属クリップ（脳血管クリップ）を有している方でも、安心して検査を受けていただくことが出来ます。
- ⑦ 患者さまにやさしいガントリと寝台設計  
安心感を持って検査を受けていただくために、72cmφの大開口径のガントリを有しています。また、寝台が床上30cmまで下がりますので、乗り降りが非常に楽に行えます。



CT担当スタッフ 左より 上谷技師、木村放射線科医長、時技師



検査風景

(竹中 達明)

# 外来化学療法室が新しくなりました

新しい抗がん剤の登場とその治療方法の進歩、そして、それに伴う副作用の予防と抑制方法の確立により、近年、がん患者さまに対して、外来において抗がん剤治療（外来化学療法）を実施することが多くなりました。外来化学療法を受けられる患者さまの大きなメリットは、入院をせず通院にて治療の継続ができるという生活の質（QOL）の向上と、経済的負担の軽減です。

本年1月の外来化学療法室の拡張リニューアルを機会に、患者さまが快適かつ安全な外来化学療法を受けていただくための環境を再整備しました。

- 1) 専用のリクライニングチェア8床と電動ベッド2床の設置
- 2) 化学療法室専用の安全キャビネットを設置し、薬剤師による安全で正確な抗がん剤の調製を実施
- 3) 化学療法施行時のダブルチェック体制の強化
- 4) 篠原尚医師が中心になり、当院独自の“化学療法プロトコル集”を作成

抗がん剤治療に関する最新情報を複数の医療スタッフ（医師、看護師、薬剤師など）にて共有認識することによる安全な治療を提供

患者さまやご家族が、安心して外来化学療法を受けていただけるように、安全で正確な治療の実施のため日々努力してゆくつもりです。

何かご不明な点がございましたら、外来化学療法室スタッフまたは主治医にご遠慮なくお尋ねください。

(沖野 睦子)



安全キャビネット  
(薬剤師による抗がん剤の調製)



専用リクライニングチェア



担当スタッフ 後列左から篠原、為金医師、中央左から小坂、弓場、森山、宮岡看護師、沖野薬剤師、前列左から柏岡、田中、山田看護師

## 編集後記

広報誌「和！輪！わっ！」も、皆様のご協力にて順調に第3号を発刊することができました。「和！輪！わっ！」は、県立尼崎病院から患者様に種々の医療情報を提供することにより、皆様の日常診療に少しでも役立つことを目的としています。

前回より設けた「医療の交差点」では、今回は、新しくリニューアルした呼吸器内科と呼吸器外科より話題提供させていただきましたが、如何でしたでしょうか？

今後、当院の各診療科を始めとする種々の部署より、当院における最新医療情報を発信していきたいと考えていますので、ご期待ください。



齋田 宏

「和！輪！わっ！」に対するご意見・ご感想をお待ちしております。

**Mail** info@amahosp.amagasaki.hyogo.jp

**Tel** 06-6401-5115 **Fax** 06-6482-5774

県立尼崎病院  
地域医療室